



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第416号

教会の季節感と時のしるし

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

今年も、キリストの降誕と再臨を迎えるための準備が整っているかどうかを自問する一年のはじめの季節、すなわち待降節を迎えました。一年間を五つの季節に分けてイエス・キリストの生涯と重ね合わせて過ごす教会は常に“意識の変化”や“意識改革”が求められ、待降節を迎えた今、そのことをあらためて問わなければなりません。

さて、待降節第1主日から新しい言葉を用いてのミサが始まっていますが、どのような感想をお持ちでしょうか。慣れるまでには時間を要するかも知れません。しかし、ミサひとつを取ってみても、これまでの「慣れ親しんだこと」から「意識して変えること」に目を向けるように促されていることが分かります。「慣れ親しむこと」は間違っただことではありませんが、変化することについて、無関心であることはできません。今回のミサ式次第の言葉の変化は、ある意味で「時のしるし」と言ってもいいでしょう。

では、意識づけはどうしたらできるのでしょうか。間違いなく、それは自分がどんなことと関わっているかを理解しているかどうかにかかっています。残念ながら、人間は自分が関わっていることにしか意識を向けられないでしょう。しかし、裏を返すと自分が関わっているものすべてには意識を向けられるということになります。つまり、意識づけは大前提として自分を存在させた方と、その方が創造した被造物とに関心を持つことから始まるので、何よりも神と神が創造された被造物はどんなに素晴らしいか、被造物の中で最も優れた存在が人間であること、自分がその人間として生まれたことなどに関心を持つことから始まるということです。「あなたの神である主を愛しなさい」、「隣人を自分のように愛しなさい」(マタイ 22・34～、マルコ 12・38～参照)とあるように、神を愛することと人を愛することとは並べられているのです。言うまでもなく、愛することは意識されていなければできません。

神が御子を世に遣わされるほど人間を愛して下さったこと(ヨハネ 3・16 参照)によって、これまで耳にしてきた普遍的な福音のメッセージとともに、教会暦上の季節の移り変わりや、今回のミサ式次第の言葉の変化などに触れることで、意識づけができ、神と被造物と向き合う姿勢が形作られていくことでしょう。主の降誕と再臨を待ち望む姿が意識づけによって、より深まっていきますように。

(目次は8面に掲載)

旅の話 (11)

岩本光弘

前回の続きの外国人住基法学習会の旅です。

福山教会に行つて欲しいと頼まれた時は、福山の友人のことを思い出しましたが、私が行くことなど知らないだろうと思っていました。ところが福山教会に行くと、誰が知らせたのか一緒に聖書の旅に行った細井さんや津和野への旅をしている人が何人も待っていて再会を喜びました。午後1時から英語ミサの後とスペイン語ミサの後に勉強会をしました。質疑が長くなって夕方までかかりました。終了後は前年に富士山登山に連れて行ったフィリピン人の神父と友人の星さんが待っていて、3人で食事に行き楽しい時間を過ごしました。

沖縄と延岡では教区司祭総会に呼ばれて話をしました。沖縄への予定を決めた時は大変でした。台風が接近してきたからです。金曜日の朝に東京から電話があり、一日前に行けますかと言われました。時間が空いていたので、急いで準備をして福岡空港に行きました。空港で台風が接近しているので前日に乗りたいというチケットの変更をしてくれました。到着後予約していたホテルに行つて前日からの宿泊を頼みました。天候も悪くどこにも出られないで困りました。ところが台風は逸れ、翌日から晴天で帰りに首里城を見てきました。

翌日に会場へ行くと何か雰囲気がおかしいと思いましたが、前に出てすぐにわかりました。教区の司祭総会だったのです。私はそのように言われてなかったのです。一番前に髪が白い貫禄のある人が座っていました。あとで分かったのですが、沖縄教区の司教様でした。

参加者の司祭やシスターのほとんどが外国人だったのは驚きました。その後、今の沖縄教区には日本人の司祭は一人もいないそうです。神父たちは私の話を真剣に聞いてくれ質問がいっぱい出て、多くの司祭が教区に帰って外国籍の信徒に話をすると伝えてくれました。

延岡へは折尾から宮崎行の特急で行きました。延岡は遠く、特急で4時間以上かかったのには驚きました。到着するなり東京のスタッフに「小倉から名古屋までと同じ時間が掛かったよ」と思わず言いました。延岡には長崎管区の担当司祭の川口神父が居ました。

何度も一緒に活動をしている神父なので良く来てくれたと歓迎されました。会場はホテルでした。40分の時間をもらって話をしましたが、ここでも神父から質問が沢山出ました。

延岡行の電車の中で美野島のコース神父から電話があり小郡教会に来ている実習生の相談が入りました。帰宅してから小郡教会の司祭に連絡し次の日曜日に小郡教会に行きました。

小郡教会の神父はとても喜んでくれ、その後この相談者の問題解決で活動しました。3か月後に帰国の予定で大変でしたが、帰国の日に福岡空港国際線の待合室で彼女に不払い賃金分の50万円を渡すことができました。この間も各地へは出かけていましたが、最後に福島県いわき市へ行って欲しいと連絡があり行きましたが、これが最後の学習会でした。

この活動では一年間に各地へ出かけましたが、いろいろな人に会うことができ楽しいことも沢山あり良い経験をすることができました。

典礼委員会より

典礼委員会に、ご理解とご協力をいつもありがとうございます。

11月27日より「待降節」に入ります。その日より新しいミサの式次第に変更となります。

心配されている方もいると思いますが、神父様をはじめ典礼委員、そして信者の皆様も初めてのことです。初心者です。

安心してください。不安はありますが、水巻教会で谷口神父様と共に新しいミサを迎えられるのは素晴らしいこと、そして思い出に残ることではないでしょうか。

司式は変更されても神様への想いは変わりありません。反省と感謝の気持ちを込めて祈れば、必ず神様に伝わると私は思います。

典礼委員一同、少しでも早く円滑にミサが進みますよう努力いたします。よろしくお祈りします。素晴らしいクリスマスを迎えられますように、皆で一つになって祈りましょう。

典礼委員長 浅田 敏幸



教会学校のページ

10月23日、「こころの会」に合流してブルーレイを鑑賞しました。テーマは「世界遺産・長崎・天草キリシタン関連教会群」(上)でした。参加した樽角さん家族はコロナ禍前、天草に行ったそうで楽しい鑑賞会になったようです。

12月11日のミサ後には、教会学校の子供達と共に、恒例の「愛の街頭募金」を行います。地区での「街頭募金」がコロナ禍で3年ほど中止されましたが、教会学校では昨年「愛の街頭募金」を実施、多くの方から募金をいただきました。今年もどうかよろしくお願いします。



【昨年の「愛の街頭募金」の風景】



水巻教会 レプトン会の皆様

† 神様の愛は永遠！

マリア様のロザリオの月も終わりを迎えようとしています。日一日と肌寒くなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。いつも祈りと支えをいただいていますことに心より感謝いたします。

先日、レプトン会さまより日本管区本部に送られてきた献金 30 万円 (2022 年分) を拝受いたしました。

いつも、マリア・タキ保育園の子供たちのために皆様が惜しみない援助をくださっていることに、心より感謝いたします。

ペルーでは現在も引き続き COVID-19 が蔓延していますが、人びとは日々の糧を得るために、少なくなった働き口をさがし求め、必死で家族を守ろうとしています。路上で今日の食事を求めて物乞いする人々がいます。特に外国から働きに来ている家族の姿が多くみられるようになりました。

わたしたちカリタス会のシスターたちは、おかげさまで元気に過ごしています。昨年から今年にかけて、数名のシスターにコロナの陽性反応が出て、隔離生活を送ったことありますが、大事には至らず、今は落ち着いた日々を過ごさせていただいています。

厳しい状況の中にあっても、神様のみ手の中にいることを感じて生活しています。ミサにも昨年まではほとんどネットを通して参加していましたが、今年になってからは、小教区のミサに対面で与ることができるようになりました。

日本の皆様もどうぞ、くれぐれもお気をつけてお過ごしくださいませ。神と聖母のみ手に守られて、心安らかな日々を過ごされますように。感謝の祈りを倍加してお捧げ致します。

2022 年 10 月 26 日

リマの聖女ローザ準管区
シスターマリー-中村英子



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 12月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

葉っぱが色付いてきて、秋の訪れを感じる中、みかん狩り遠足に行きました。3年ぶりのみかん狩り遠足だったので、初めて行く子がほとんどでした。自分で収穫したみかんを1つ食べ、「美味しい!」「少しすっぱい」など嬉しそうに食べ、たくさんのみかんを収穫してお土産にお家に持って帰りました。

七五三祝福式では、感謝の祈りをし、神父様に按手をして頂きました。1人では大きくなれないので、家族の人や関わってくれている方に感謝の気持ちを伝えましょうと、神父様にお話をしてもらいました。

そして、イエス様のご誕生までもうすぐです。年長児は、聖劇の練習が始まり、聖劇を通して、イエス様のご誕生のお祝いをしたいと思います。

水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp



〈マリア子どもの家〉



11月4日(金)、水巻教会で七五三祝福式がありました。月齢の高い11名が参加しました。最後に、神父様に按手をして頂き、園長先生に美しいおメダイを首に掛けて頂きました。そして、園庭のマリア様の前で、記念写真を撮りました。こんなに大きくなりました!これからも健やかに成長できるようお見守りください。

ベランダは、まだ4時なのに、すっかり秋の日差しです。朝顔の葉も枯れ、小振りの花の数が3~5ケ。代わりに、ピオラやノースポール、金魚草などが咲いています。「こっちもお願いしまーす。」みんなで雑巾がけをしました。



TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

委員会等報告 2022年11月分

11月度小教区委員会 11月6日

1. 行事予定

- ・12月2日(金) 個別のゆるしの秘跡
(10時半～12時、18時半～19時半)
- ・12月4日(日) 小教区委員会
- ・12月11日(日) ミサ後～街頭募金活動。
15時～典礼委員会。
18時～ベトナム語のミサ。
- ・12月17日(土) 待降節黙想会(一日目)
19時～
- ・12月18日(日) 待降節黙想会(二日目)
指導司祭は大分教区／韓国・大田教区
所属 崔 在景(チェ ジェキョン)師。
- ・12月24日(土) 主の降誕・夜半ミサ
19時半～
- ・12月25日(日) 主の降誕・日中ミサ
- ・12月31日(土) 感謝の集い 16時
聖体賛美式と「教会の祈り」
- ・1月1日(日) 神の母聖マリア
ミサ 10時～成人の祝い・車の祝福

2. 議題

(1) 各委員会報告

① 広報委員会

・主任祭司と相談の結果、印刷機を購入すべきと判断したため、来月度の小教区委員会にてどの機種でどのような形で導入するかを提示みたい。

② 典礼委員会

・10月23日(日)の15時より委員会を開き、11月27日(日)の待降節第一主日からの典礼、クリスマスの典礼についておおまかに確認した(詳細は当日の議事録を参照のこ

と)。12月24日(土)の典礼における共同祈願の作成依頼もする。

・11月20日(日) 今年もベトナムの青年たちが屋外に馬小屋を作成する。

③ 堂繕委員会

・1階、2階の掲示板の改修と設置を終えた。
・排煙窓(聖堂の尖塔部分)の工事を終えた。
請求額は164,465円。

④ 納骨堂委員会

・納骨室の一室が返還。また、窓の手前にある十字架像を新しいものに替えた。さらに、カーテンも新しいものに替えるが、現在見積りを取っている段階。

⑤ 冠婚葬祭の会

・結婚式や訃報が入った際にその都度、協力者を募っていたとのことを知った。委員会として機能していないため、道具の管理もどのようになっているか不明。冠婚葬祭の司会者やオルガン奏者については「からしだね」に載せて呼びかけているので、道具について何か知っている方がいれば松尾恵子までお知らせください。

⑥ 総務

・来年、2月24日(金)に抱樸支援のための炊き出しを予定している。

(2) 「小教区委員会規約」とそれに基づく規定等の更新および改正について

・現在、存在している規約は2007年1月14日付けのものであり、また、「水巻教会役員選出規定」もあるが、これは2002年

4月付けのものなので、水巻教会の現状を鑑み、時宜にあう規約とそれに基づく規定等を整える必要があることを確認した(これからの教会活動を円滑に進めるために必要不可欠)。これを受け、まず第3者によって構成される<規約作成準備委員会>を立ち上げ

ることとなった。そのため声かけをしていく。

(3) クリスマスイヴのミサ後の催しについて

・ミサ後に参列者が持って帰れるよう、200人分のちらし寿司を準備することになった(ふれあい会を中心に準備する)。

新刊図書の紹介

図書委員

谷口神父様から寄贈

「現場から現場へ」

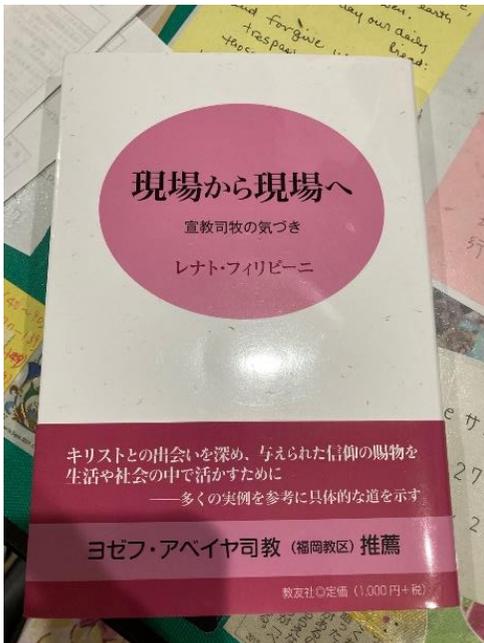
宣教司牧の気づき

レナト・フィリピーニ著

ヨゼフ・アベイヤ司教(福岡教区)推薦

司教様の推薦とは難しそう・・・敷居が高い・・・と思われがちだが、数頁の短さと具体的で分かりやすい文章は、どれも語り掛けられるように身近に感じる。例えば「日常の生活で信仰を育てる」では、「信仰は日常の営みに関わっています。私たちキリスト者の信仰とは、日常の只中でイエスがそばにいてくださるという

ことなのです。」と。又「ザビエル様と」では聖ザビエルと会話し、「シャワー式とお風呂式」では福音宣教への心構えを、感覚的に相手への信頼・安心感・環境と示唆する。柔らかな語り口には、堅い信念と情熱と愛がわたし達に向けられている。いつも、そばで、気負わず、付き合える友のような本・・・イエス・キリストからの呼びかけだった。



12月のおしらせ

★レプトン会からのお願い★

伊万里のトラピストのクッキーとミサワインの申し込みを12月4日(日)まで受け付けます。売上金はペルーへの支援の一部となります。申込表は聖堂の後に置いてあります。品物は12月18日からお渡しする予定です。

★個別のゆるしの秘跡★

日時：12月2日(金)
午前10時30分～12時
午後6時30分～7時30分
谷口神父様と外部の神父様の2人で行います。

★街頭募金★

日時：12月11日(日) ミサ後
今年は、街頭募金を行います。詳しい場所や担当地区割などは、週のお知らせやミサ後のお知らせやご確認ください。

★降誕前夜祭・降誕祭ミサ★

日時：12月24日(土) 19時30分～
12月25日(日) 9時30分～
今年は、どちらかに参加という制限はありません。



今年もミサ後のパーティーはありません。24日(土)は、からし寿司を一人1個、渡します。

★感謝の集い★

日時：12月31日(土)16時～
聖体賛美式と「教会の祈り」を行います。

★元旦ミサ★

日時：1月1日(日)
午前10時～
成人のお祝い、車の祝別があります。

★待降節黙想会★

1日目
日時：12月17日(土)午後7時～
2日目
日時：12月18日(日)ミサ後
指導司祭：大分教区、韓国・太田教区所属
崔 在景(チェ ジェキョン)神父

★こころの会★

日時：12月25日(日) ミサ後
テーマ「世界遺産 長崎・天草キリシタン
不屈の物語」(後半)

旅の話(11)・・・・・・・・・・	2面
典礼委員会より・教会学校・・・・・・・・	3面
ペルーからの手紙・・・・・・・・・・	4面
幼稚園から・・・・・・・・・・	5面
委員会等報告・・・・・・・・・・	6・7面
新刊図書の紹介・・・・・・・・・・	7面
お知らせ・・・・・・・・・・	8面